



福岡佑基さん
 並木中等教育学校2年

この事業で学んだのは、人に何かを伝えるには、はっきり伝えるということでした。ホームステイ中に、自分の意思を伝えられなくて、苦労したことが多くありました。どこに行きたいのかはつきりと言えず、ホストファミリーに決めてもらったことが何度かありました。そんなことがある度に、意思を表さないと感じました。ホームステイではそんな苦労もしましたが、この事業に参加したのはとてもよい経験になったと思います。これから事業を続けても、りたいと思います。



井上菜々美さん
 守谷高等学校1年

私は、この派遣事業で海外へ行くことが出来て本当に良かったです。私は外国の人と話した経験がほとんど無かったので、海外に行き、実際に英語で話したことはとても貴重な体験となり、英会話に自信を持つことができました。これから英

語の勉強をもつとして、もう一度海外に行きたいです。



吉川優依さん
 御所ヶ丘中学校3年

毎日が最高でした。私はこの12日間でいろんな体験ができました。パリ、ミュンヘンのスーパードの買い物、ホストファミリーとの英語だけの会話。そこできしか体験することができないことをたくさんしてきました。12日間は私の宝物です。マインブルク市民の心の温かさを忘れずに生きていきたいと思います。ありがとうございました。



小菅寛生さん
 守谷中学校1年

ホームステイでプールに連れて行ってもらったことが一番楽しかった。最初は、コミュニケーションでできる心配だったけど、ホストファミリーのアントン君は、とても気遣ってくれて、うれしかった。彼がUSBに入れてくれた曲は、僕の宝物だ。ヨハネス君と枕投げやけん玉でたくさん遊んだ。絶対にまた会いたい。

国際交流員

ヨークさんの

MORIYA
 滞在記



選挙

ドイツは今の時期うるさいほどにぎやかです。なぜならば、9月22日(日)に連邦議会選挙があるからです。そこで、今回はドイツの選挙についてお話しします。

ドイツの選挙は、にぎやかな点では日本とそんなに変わりません。ドイツでも日本と同じようにメディアがさまざまな党についてのニュースを取り上げます。さらに、あちらこちらに選挙ポスターが貼られたり、候補者がいろいろな広場でスピーチをしています。

しかし、日本の選挙戦の方が、選挙カーが回るため、ドイツよりさらににぎやかです。特に静けさを好むドイツ人としては、選挙カー

による演説には許しがたいものがあります。ドイツでは騒音防止条例があるので、選挙カーが回ると、すぐに警察に捕まってしまう。午後1時〜3時と土日は騒音を出すことがさらに禁止されています。何より、選挙カーの効果があるか疑問なのは私だけでしょうか？

来日して他にも驚いたことがあります。それは、選挙を運営する人々です。日本では市区町村職員が運営していますが、ドイツではボランティアです。ボランティアが集まらない場合は、市民の抽選があり、義務を果たす人を決めます。しかし、ほとんどの場合はボランティアが見つかります。

投票日は毎曜日曜日で、午前8時〜午後6時まで受け付けています。投票日に投票所へ行けない人や私のようにドイツにいない人は郵便投票もできます。

ドイツでも大きな問題は政治離れです。私は、投票は国民の義務だと思いますが、多くの人は政治に関心を持たなかったり、投票し

ても自分に影響がないと感じたりして、選挙に行きません。2009年のドイツの連邦議会選挙の投票率は、全国平均72・20%で、戦後最悪でした。日本でも参議院選挙の投票率は、52・61%でした。

私も政治に深く関心がある方ではありませんが、ニュースなどから政治がどのような方向に進んでいるか、最近何を議論しているかといった情報は得るべきだと思います。

ドイツでは、多くの人がどの党を選ぶか悩み、投票しなかったようなので、政治に関心を持つ若い世代の人々は、社会学者や政治学者などの相談を受けながら、解決方法を考えました。そこで若者たちは、全ての党のマニフェストから各分野の選択問題を作成し、賛成するかしないか、どれでも良いかの問いに答えていくと、自身の政治的な考えがはつきりし、投票すべき党が分かるようなホームページを作りました。さて、今年の選挙では誰が勝ったのでしょうか？